

受け継がれる思い

～前恩田町長を偲んで～

2025 年 8 月 7 日、前明和町長 恩田 久様にご逝去されました。あの日から四十九日が過ぎ、今あらためてその人柄と功績を思い返しております。

恩田様は、昭和 45 年に当時の明和村役場に奉職し、企画開発課や総務



課教育委員会に配属されました。広報をやれば賞をとり、社会教育では町の昔話をまとめて絵本にするなど、真剣に、そして楽しく仕事に取り組まれていました。

また、若いころには一緒にサッカーをさせていただきました。恩田様は、健強な体を使った熱いプレースタイルで、接触も躊躇せず、激しい闘争心を全面に出し、どんな試合でも諦めなかったことを覚えています。

そして、よくこれからの明和について熱く語り合いました。サッカーのプレースタイル同様、情熱的でまっすぐな性格から、時には衝突をしましたが、今では本当に良い思い出です。

その後、恩田様は私と同じ平成 3 年に役場を辞し、平成 11 年に明和町議会議員に初当選。平成 17 年には町長選挙に立候補されました。「対

話、信頼、行動」を重んじる恩田様は見事当選し、本格的にまちづくりに取り組むこととなりました。

町長としては、出産祝金の制度、こども園園庭の全面芝生化、各地区でのサロン開設、梨ワインの特区認定、徹底的なごみの分別によるもったいない館設置、明和町のゆるキャラ「メイちゃん」の誕生など、多くの施策を実現されました。



世はリーマンショックの真っ只中の不況の中でもありましたが、川俣駅橋上化、地域活動支援センター設置、明和中学校体育館の建設など、明和町の将来に禍根を残さないよう、一切の無駄を省き、行政のシンプル化に汗を流した恩田様のお姿は、今も目に浮かびます。こうした功績が認められ、令和2年4月には、双光旭日章を受章されました。

今、明和町は他の自治体に負けない発展を遂げております。このような発展ができるのも、恩田様が現在の町の基礎をつくり、まちづくりに情熱を注いでくれたことにほかなりません。恩田様のご遺志は、私をはじめとする明和町の後継者が引き継ぎ、全身全霊でまちづくりを進めてまいります。

前明和町長 恩田 久様のご遺徳を偲びつつ、その情熱と功績に心から敬意を表します。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



【明和村役場サッカー部(前列一番左が恩田様、後列一番右が私)】

令和7年9月24日

明和町長 富塚もとすけ